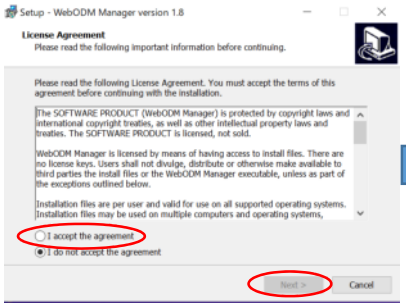
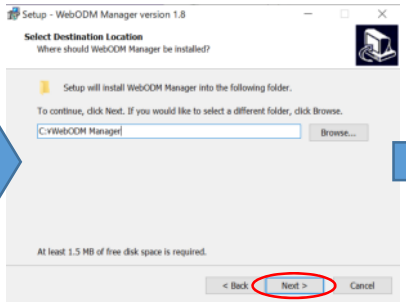
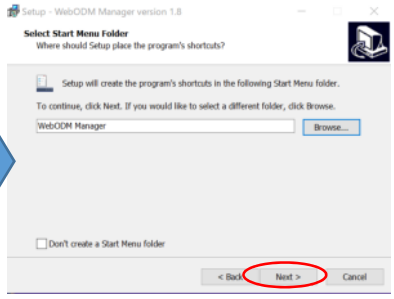
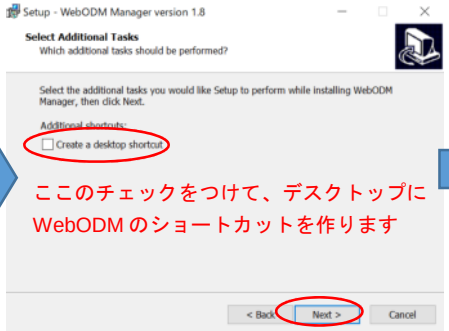
DOCKER のインストール

ダウンロードした WebODM_Setup_x64.zip を解凍すると、中に WebODM_Setup_x64.exe がありますので、ダブルクリックして実行します。

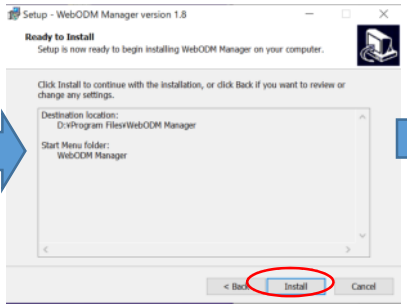


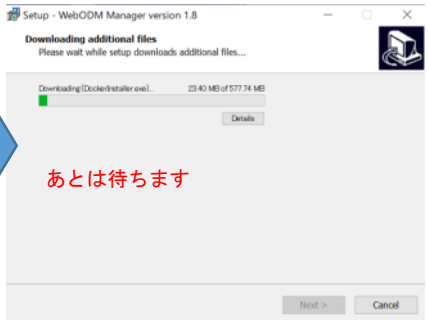




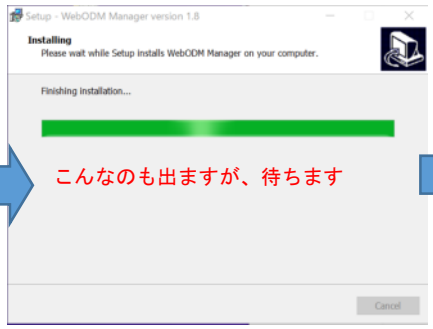


ここのチェックをつけて、デスクトップに
WebODM のショートカットを作ります

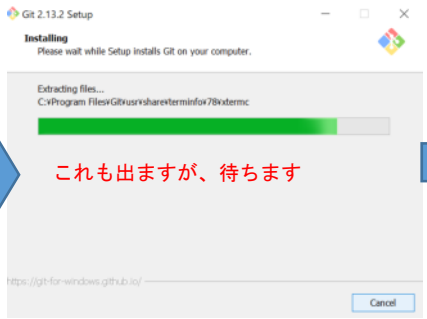




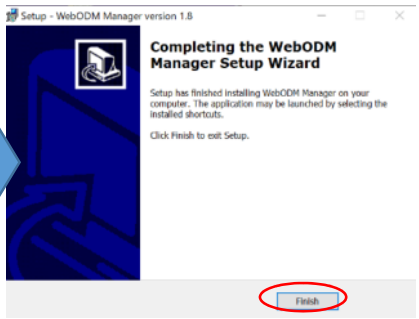
あとは待ちます



こんなのも出ますが、待ちます

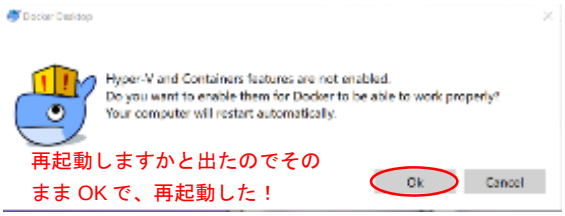


これも出ますが、待ちます

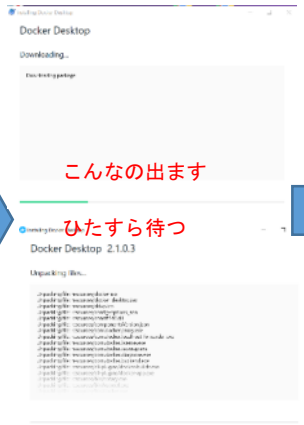


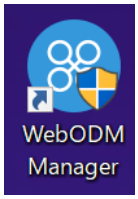
Windows10Pro の場合

OS ごとに挙動が違うようです。まだ PC の環境などで色々なパターンがあるかと思いますが、とりあえず私の環境下での挙動です。



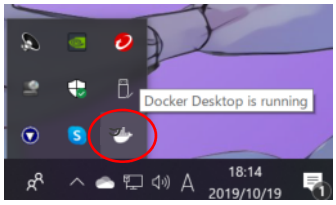
再起動しますかと出たのでそのまま OK で、再起動した！





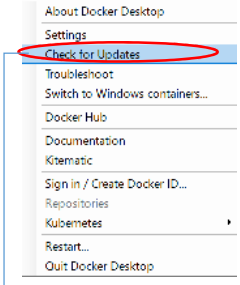
デスクトップにショートカットが出来る。

Docker が正常にインストールされているか確認してください。



白いクジラが正常です。

赤いクジラは異常です。

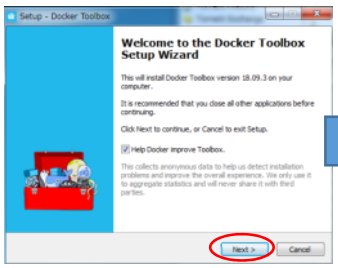


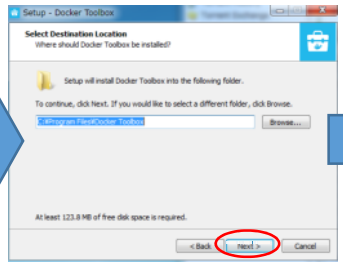
アップデートしてください

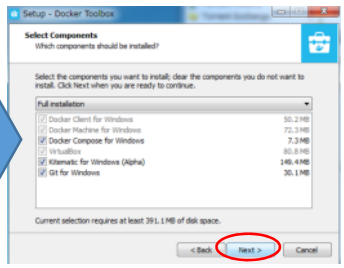
再起動のたびに Docker が自動起動するので、セッティングから起動しないようにもできます。

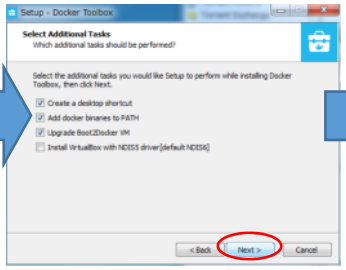
Windows7Pro 及び Windows10Home の場合

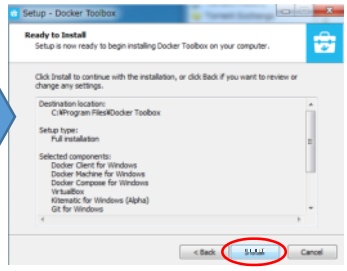
こちらは、Docker　Toolbox からインストールされるようです。

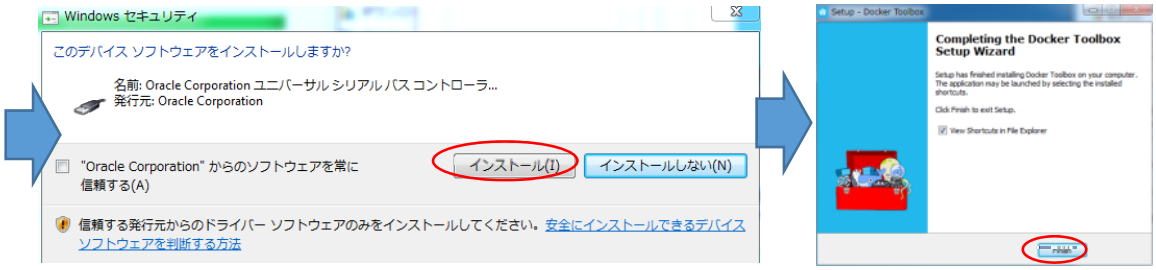


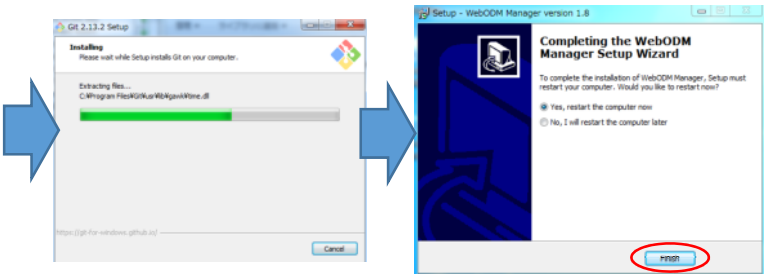




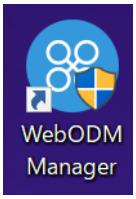








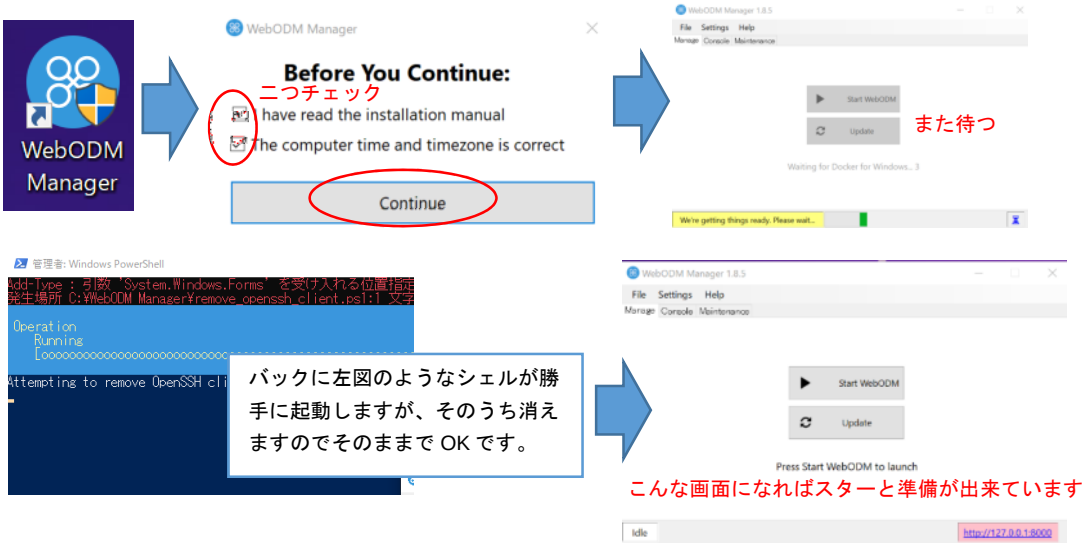
★再起動するので注意★



再起動後にデスクトップにショートカットが出来ます。

WEBODM　MANAGER のスタート準備について

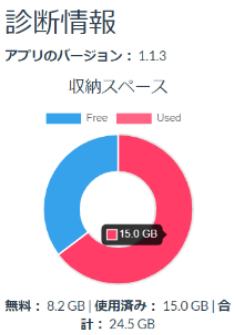
WebODM Manager のショートカットが出来ていますので、そのままダブルクリックしてください。



Windows7PRO 及び Windows10Home の場合

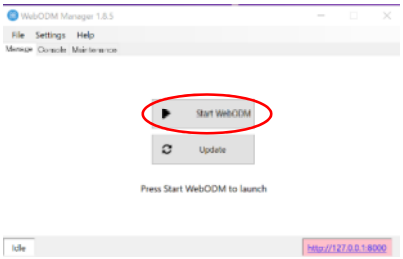
　インストールの途中でドライブ指定画面が出ます。空き容量が大きい（100 GB 以上が望ましい）ドライブがある場合、それを使用します。セッティングでは利用可能なすべての CPU と RAM を割り当てないように注意してください。 過剰に割り当てると、コンピューターがハングアップします。概ねデフォルトのままで良いかと思いますが、ストレージの容量はＨＤ内にＯＤＭで利用する各種データ（写真やオルソ画像など）が保管される場所で、後々変更できません。今後作成するプロジェクト（連続写真や変換された各種データを保管管理している塊）をずっと保存しておくのであれば、出来るだけ大きく取ることが望ましいです。

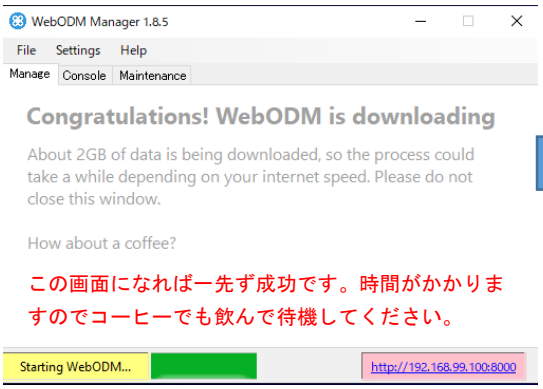
※イメージとして、私のデータではプロジェクト数８、写真２５０枚、で１５ＧＢが使用されていました。ストレージは２４．５ＧＢに設定していたので、あとプロジェクト４つほどで容量オーバーしそうです。

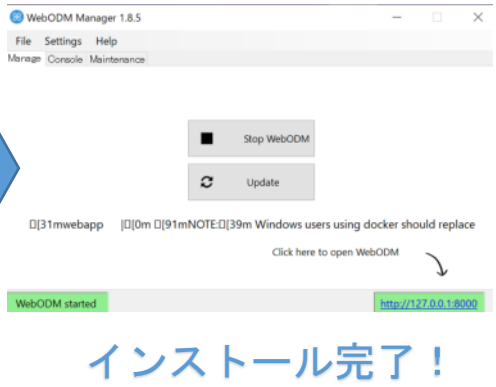


WEBODM　MANAGER のダウンロード

もう少しです。まずは WebODM をスタート







Windows10Pro の場合

Error: Could not update WebODM. WebODM directory does not exist.が出て動かない場合があります。おそらく DockerID を入れてログインしていないために出るようです。その場合は、下記の URL より WebODN のマスターデータをダウンロードして解凍します。WebODM-master フォルダーの中に同じ名前の WebODM-master がありますので、名前を WebODM に変更し、インストール先の WebODM Manager フォルダー内にコピーして再度 Start WebODM をクリックしてください。
https://github.com/OpenDroneMap/WebODM/archive/master.zip

ダウンロードに成功すると、上図のようになりインストール完成です。ここまでになればほぼ成功ですね。ちなみに UpData をクリックすると私の環境下ではエラーが出ます。とりあえず動くので良しとしましょう。